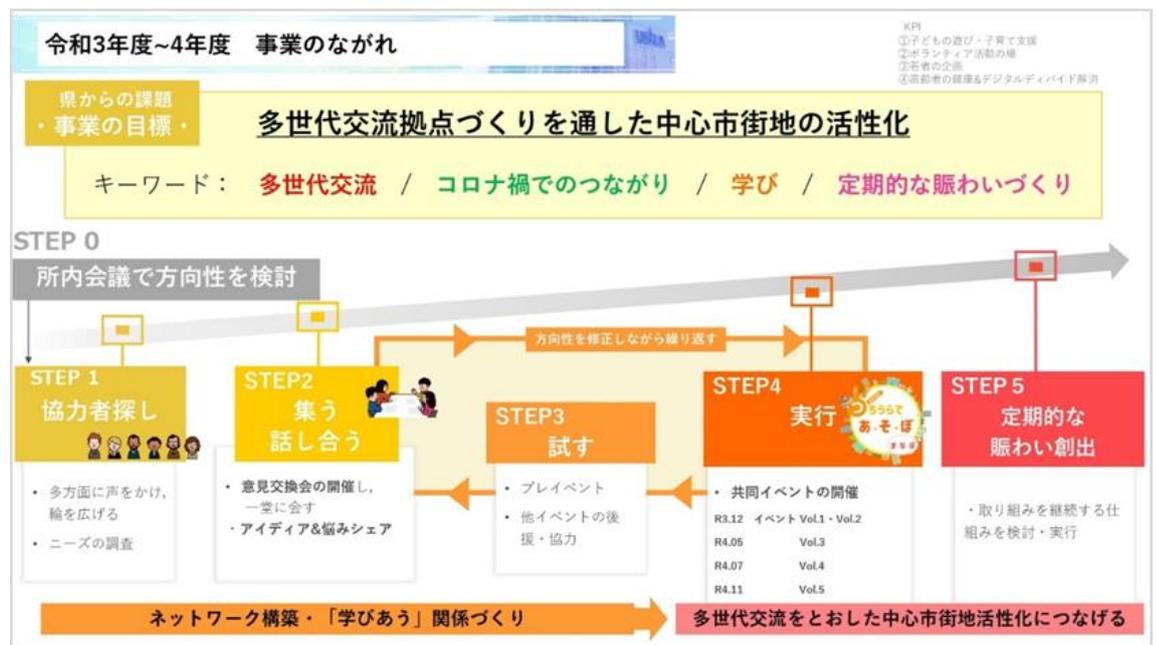


多世代交流拠点づくりを通じた中心市街地の活性化

- 1 現状と課題 ○県南地域の14市町村では、TX沿線で都市化が進む一方、常磐線沿線では中心市街地が空洞化している傾向が見られる。
○人口の流動や増減等により社会の結び付きの希薄化も危惧されており、これからはますます地域力が問われている。
- 2 期待される効果 本事業では、JR土浦駅周辺に多世代が多様な交流ができるような拠点を創出することで、市民の人的ネットワークを強化し、地域の社会的連携力を豊かにして中心市街地の活性化につなげることをねらいとした。
○コロナ禍でも「多世代交流拠点づくりを通じた中心市街地の活性化」を達成できるよう、イベント等の大人数が集まる機会ではなく、小規模な交流の機会(=土浦駅周辺施設による中心市街地活性化のための意見交換会)を定期的で開催することにより、市民団体・店舗・行政機関・学生等の多世代・多業種がネットワークを構築し、中心市街地活性化のための基盤づくりをねらいとした。
○中心市街地の空き店舗や既存の施設等を活用した4つの多世代交流プロジェクト「子育て・子どもの遊び支援」、「ボランティアによるイベント創出」、「若者による講座企画」、「高齢者の健康とデジタルディバイド解消」について、意見交換会メンバーで話し合い、イベント実現を目指すことで、中心市街地活性化に取り組む仲間を増やししながら、より多くの人が多世代交流できるよう努めた。
- 3 事業実践方法 【事業概要】(図1)



(1) 概要(目的)

定期的な意見交換会とイベント企画・実行についてPDCAサイクルを意識しながら繰り返すことにより、意見交換会・イベントの両方で多世代・多業種交流の機会を創出し、中心市街地活性化につながる人材団体のネットワークづくりに努めた。

その結果、当事業参画メンバー同士が自主的に連携し、地域活動を行うなどの波及効果も見られた。

(2) 委員構成(土浦駅周辺施設による中心市街地活性化のための意見交換会参加団体)

団体	数
民間企業(鉄道会社・駅ビルテナント会社等)	10社
個人事業主	4団体
商店街管理組合	1団体
市民団体(公民館サークル・学習センター登録団体等)	5団体
NPO法人	1団体
行政機関等(県・教育事務所・市役所・自衛隊事務所)	6団体
学生団体	1団体

(3) 具体的な取組内容

ア 会議・交流会等

[目的] 中心市街地活性化に向けた課題や、日頃の悩みを共有し、活性化に向けた取り組みについて話し合う。

[出席者] (2)のメンバー及び新規参加団体

[工夫点] 意見交換会は、毎回1時間の短時間に設定し、定期的に交流の機会を創出した。日頃抱えている悩みの相談や、イベント作りに向けた活発な意見交換ができるよう三項関係(図2)を意識した場づくりに努めた。

【意見交換では対話の場づくりを意識】

(図2)



回数	内容等
令和3年度	
全5回	<ul style="list-style-type: none"> ○つちうらであそぼ in SUMMER(8/21 オンライン開催)に向けて ○つちうらであそぼ in WINTER (12/4、12/18 開催)に向けて <ul style="list-style-type: none"> ・地域団体と主催者の連携による賑わい創出づくりのためのイベントについて ・コロナ禍での賑わい創出について ・中心市街地活性化の取組について
令和4年度	
全8回	<ul style="list-style-type: none"> ○つちうらであそぼ・まなぼ Vol.3(5/29 開催)に向けて ○つちうらであそぼ・まなぼ Vol.4(7/31 開催)に向けて ○つちうらであそぼ・まなぼ Vol.5(11/3 開催)に向けて <ul style="list-style-type: none"> ・多世代交流による中心市街地にぎわいづくりの取組について ・有効な広報について(来場者・広報媒体の分析、チラシ配布箇所・SNS/LINEの活用等)

イ 研修・ワークショップ・講座等

[工夫点] ・イベントの各ブースのサポーターを高校生に依頼し、事前に研修会を実施した。
・各ブースを運営している地域の方々との交流の機会の創出にもつながった。

回数	内容	対象者
4回	高校生ボランティア研修 ・イベント運営支援ボランティアをするためのスキルアップ研修	高校生ボランティア



【イベントにむけて準備する様子】

ウ 実践

【実践1】多業種・多世代と協働したイベントの開催

年に3回のイベント(会場分散型周回型イベント「つちうらであそぼ・まなぼ」)企画、実施をととして、出展団体、イベント参加者が交流する機会を創出した。



期日	内容・対象者
令和3年度	
8/21	[検証] オンラインでの交流の場づくり [内容] <つちうらであそぼ in SUMMER> 参加者数: 高校生ボランティア 22名、イベント参加者 28名 内 容: 2店舗のイベント(モール 505 商店街内 AsoVIVA JOker/PLAY atrè 土浦:STATION LOBBY)及び生涯学習センター主催のエンジョイホリデーを同時開催し、中心市街地活性化を目指す。 ※国のまん延防止等重点措置適用のため急遽オンラインで「AsoVIVA JOker × 高校生ボランティア オンラインでできるボードゲーム」を開催した。 [結果] オンラインで交流の場を作ることはできたものの、多くの人が参加しやすいイベント運営には至らなかった。
12/4 12/18	[検証] 駅周辺の複数会場を使用することで、イベント来場者が三密を回避しながら中心市街地の新しい遊び場を見つめることができるようなイベントづくりに努めた。 [内容] <つちうらであそぼ・まなぼ in WINTER(Vol.1、2)> 来場者数: 12/4 314名 12/18 336名

テーマ	出展ブース（出展団体名）	交流
子育て・ 子どもの遊び支援	<ul style="list-style-type: none"> 親子で学ぼう！つちまる Kids!(土浦市役所) ヤクルト親子で健康クイズ(古河ヤクルト) 世界にひとつだけのマイおはし作り(県南農林事務所) まちなかでアウトドア体験(県立中央青年の家) マルシェ(かぜのいち・あおぞらまるしえ) リズムアンドキッチン(STATION LOBBY) モール 505 商店街エリア(YouTuber 体験/カードゲーム体験) 	行政機関、民間企業 店舗、市民団体と イベント参加者
ボランティアによるイ ベント創出	<ul style="list-style-type: none"> エンジョイホリデー(成人ボランティア) ボランティアがクリスマスのクラフトや腹話術、手作りおもちゃ体 験コーナー等を企画し実施した。 イベント運営補助(高校生) 	ボランティア、高校生 とイベント参加者
若者による 講座企画	<ul style="list-style-type: none"> 筑波大学生と SDGs を楽しく学ぼう！ AsoVIVA JOKEr × 高校生 ボードゲームであそぼう！ 	大学生と イベント参加者 高校生と店舗
高齢者の健康	<ul style="list-style-type: none"> 自衛隊体操に挑戦！(自衛隊土浦地域事務所) メカベア体験会(高齢の個人事業主) パラスポーツポッチャ体験(土浦三中地区公民館スポーツ協会) 	高齢者/高校生と イベント参加者

[結果] 各会場を周るスタンプラリーを開催したが、流れ作業になってしまっている参加者が見受けられた。



令和4年度

5/29 [検証] 各会場を周る謎解きラリーを開催することで、各会場で交流の機会を創出したり、新しい遊び場を見つける仕掛けづくりをする。

[内容] <つちうらであそぼ・まなぼ Vol.3> 来場者数:延べ 1,463 人

テーマ	出展ブース（出展団体名）	交流
子育て・ 子どもの遊び支援	<ul style="list-style-type: none"> Let's 親子で健康チェック！(土浦市役所) 子ども映画会(土浦市立図書館) マルシェ(あおぞらまるしえ) マジックハンド体験(JR 東日本土浦駅) モール 505 商店街エリア(YouTuber 体験/カードゲーム体験) 親子絵本読書会(PLAY atrè /天狼院書店) 子ども自転車教室 (PLAY atrè /ル・サイク、協力:プリチストンサイクル株) KIDS 向けギター体験(木村大 Music Lab.)※5/28 開催 	行政機関、民間企業 店舗、市民団体と イベント参加者
ボランティアによるイ ベント創出	<ul style="list-style-type: none"> エンジョイホリデー(成人ボランティア) イベント運営補助(高校生) シトラスリボンプロジェクト(高校生) 犬猫譲渡会 	ボランティア、高校生 とイベント参加者
若者による 講座企画	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者スポーツを通じて(筑波大学と SDGs を学ぼう！) AsoVIVA JOKEr × 高校生(ボードゲームであそんでみよう！) 酒蔵試飲販売会(PLAY atrè /IBARAKI 佐藤酒造) 	大学生・高校生、 個人事業主と イベント参加者
高齢者の健康	<ul style="list-style-type: none"> 自衛隊体操に挑戦！(自衛隊土浦地域事務所) メカベア体験会(高齢の個人事業主) ミニポッチャ体験(土浦三中地区公民館スポーツ協会) 	高齢者/高校生と イベント参加者

[結果] 謎解きラリーの開催により、多くの来場客が各会場を回った。出展者とも謎解きをとおして交流できた。前回(12月)のイベントの反響もあり出展者も増加した。



7/31

[検証] 高齢者の参加が少ないため、高齢者向けブースの工夫や高齢者向けのチラシを作成することにより、多世代が楽しめる交流イベントづくりに努めた。

[内容] <つつうらであそぼ・まなぼ Vol.4> 来場者数:延べ 1,509 人

テーマ	出展ブース (出展団体名)	交流
子育て・ 子どもの遊び支援	・Let's 親子で健康チェック! (土浦市役所) ・かいだんばなしのへや(土浦市立図書館) ・マルシェ(あおぞらまるしえ) ・ボードゲームであそんでみよう! ・自衛隊 VR/服装体験! (自衛隊土浦地域事務所) ・モール 505 商店街エリア カードゲーム体験 ・PLAY atrè「Summer Festival」※7/30,31 開催	行政機関、民間企業 店舗、市民団体と イベント参加者
ボランティアによる イベント創出	・エンジョイホリデー(成人ボランティア) ・木のおもちゃランド(成人ボランティア)	ボランティアと イベント参加者
若者による 講座企画	・障がい者スポーツを通じて(筑波大学生と SDGs を学ぼう!) ・AsoVIVA JOKer × 高校生(ボードゲームであそぼう!)	大学生・高校生、 個人事業主と イベント参加者
高齢者の健康	・シニア限定! (脳活トイドローン&プログラミング体験) ・英語発音体操でエクササイズ	市民団体、 個人事業主と イベント参加者

[結果] 高齢者ブースづくりや広報の工夫により、高齢者の参加が増加した。イベントのピーター率が向上し、活動が認知されてきた。出展団体は、事前の意見交換会で情報交換したことにより、他ブースへの案内もスムーズにできた。



11/3

[検証] 多世代交流の面では大人が楽しめるブースが少ないため、各団体が連携して SNS やホームページの充実に努めた。出展団体が増えてきたためイベントとしての統一感も意識した。

[内容] <つつうらであそぼ・まなぼ Vol.5> 来場者数:延べ 2,200 人

テーマ	出展ブース (出展団体名)	交流
子育て・ 子どもの遊び支援	・Let's 親子で健康チェック! (土浦市役所) ・リサイクルブックマーケット(土浦市立図書館) ・マルシェ(あおぞらまるしえ) ・リサイクルまとあて&ゴミ分別ゲーム(日立セメント株式会社) ・Let's Enjoy Volleyball! ・ふれあいサッカー(キックターゲット、キックスピード) ・自衛隊 VR/服装体験! (自衛隊土浦地域事務所) ・モール 505 商店街エリア カードゲーム体験 ・クレープ職人体験(PLAY atrè: NANAIRO Eat at Home!)	行政機関 民間企業 個人事業主 市民団体 と イベント参加者
ボランティアによる イベント創出	・エンジョイホリデー(成人ボランティア) ・木のおもちゃランド(成人ボランティア) ・イベント運営補助(高校生)	ボランティア、高校生 とイベント参加者
若者による 講座企画	・筑波大学生と障がい者スポーツで遊ぼう!	大学生と イベント参加者
高齢者の健康	・シニア限定! 脳活トイドローン&e スポーツ体験 ・子どもから大人まで一緒に! 英語発音体操 ・キムラボのど自慢まつり 秋 ・レクボッチャ体験(土浦三中地区公民館スポーツ協会)	個人事業主、 市民団体、高校生と イベント参加者

[結果] SNS を見てイベントを知った参加者が増えた。50 代~70 代の参加者が増加し、2 年間の活動をとおして、多世代交流のできる中心市街地活性化イベントになってきた。

[改善点] 車いす使用者等を想定した動線でないため、今後は誰でも気軽に参加できる工夫が必要である。

【実践2】中心市街地活性化に関するイベントの開催支援

日時	内容	支援方法
令和3年度		
7/18、19	「つちうらステアマルシェ」後援	・広報協力 ・意見交換会メンバー視察
7/24、25	PLAY atre TUCHIURA 主催 「Summer Festival2021」協力	・ステージ出演者・団体の紹介 ・広報協力
3/26、27	PLAY atre TUCHIURA 主催 「TSUCHIURA LAKESIDE BIKELORE 2」協力	・広報協力
3/26	土浦アートクラフト実行委員会 主催 「土浦 アートクラフト」後援	・広報協力
令和4年度		
10/2	土浦アートクラフト実行委員会 主催 「土浦 アートクラフト」後援	・広報協力

【実践3】モデルプログラム周知活動

期日	内容	対象者
令和3年度		
2/25	地域連携協働事業創出事業(主催事業)において事例紹介とパネルディスカッションを開催 テーマ:「行政・市民・学生団体の連携による学びと多世代交流をと おした、コロナ禍での中心市街地賑わいづくりの取り組みにつ いて」	市町村生涯学習担当課職員 イベント出展団体
令和4年度		
10/19	地域連携協働事業創出事業(主催事業)において事例紹介 テーマ:「多世代・多業種の対話から生まれたにぎわい創出イベント」	市町村生涯学習担当課職員、 生涯学習関連施設職員
11/19	地域連携協働事業創出事業(主催事業)「いばらきフォーラム」にお いて事例紹介 テーマ:「多世代・多業種の対話から生まれたにぎわい創出イベント」 	地域活性化に関心のある市民